# 呼吸活性センサーシステム6/BIO.P

圧力センサーでふらん瓶内の気圧変化を測定。

データは無線での転送でPCでの記録管理にも対応。

スターラーをセットした6本タイプ。



- ●操作が簡単な圧力センサー式、滴定法と相関あり
- ●BOD5に対応、5日分5回の測定値を自動保存
- ▶PCへの測定データ無線送信も可能(1時間毎~)

- ●水質検査におけるBOD5の測定[システム6]
- ●化学物質やプラスチック等の生分解性試験 [システム6 BIO.P]

型名	呼吸活性センサ	ナーシステム6	呼吸活性セン	ノサーシステム	6 BIO.P
測定方式	圧力センサー式。CO2吸収剤の減圧による測定値表示				
測定レンジ	0~90ppm	0~250ppm	0~600ppm	0~999ppm	0~4000ppm
設定液量	400mL	250mL	150mL	100mL	25mL
圧力値	500 ~ 2000 mbar (hpa)				
ふらん瓶容量/架数	500mL (専用過	送光瓶)×6本	1L (GL-45のねじ口びん)×6本		
PC での データ記録日数	ppm [mg/L] : $5\sim30$ day、圧力値[mbar (hpa)] : $1\sim180$ day ※手動での現在値確認は随時、バッテリーが持つまで可能				
測定本数	測定最大 48本まで(1本ずつ違う設定が可能)				
スターラー	回転数固定		回転数可変、80~1500r/min		
外形寸法/質量	スターラー: 約1kg センサー+専用瓶: 240Hmm, 約400g /本 スターラー組み合わせ時 270W×185D (コンセント含215) ×300Hmm		スターラー: 約1.8kg センサー+1L瓶: 315Hmm、 約670g/本 スターラー組み合わせ時 230W×370D (コンセント含400) ×367Hmm		
電源	センサー部: 1本につきCR-2430×2個 マグネチックスターラー: AC100V、2W/4W(BIO, P)				
製品構成/付属品	センサー×6、専用遮光瓶/GL-45の1L瓶(BIO, P)、 6連スターラー (攪拌子付属)、ワイヤレスデータBOX(USBケーブル付)、PC接 続&記録用ソフト				
価格	お問合わせ				

(\*)測定用のPC (Windows 10以降)は別途ご用意ください。ワイヤレスデータボックスの接続はUSB端子を使用します。PC記 録用ソフトウェアのインストールメディアはUSBメモリーでの供給となります。

- ●炭酸ガス吸収剤(水酸化ナトリウムや水酸化カリウム等)は、別途ご用意ください。
- ●インキュベーター内で使用される場合、上記の率行きに加えて(コンセント会)部の数字を目安とした余裕をとってください。

## ●別売部品(追加もしくは交換用)





呼吸活性センサ システム6 BIO.P



型名	備考	価格
呼吸活性センサーシステム6増設用	6連スターラー(攪拌子付属) センサー×6、専用遮光瓶	
呼吸活性センサーシステム6 BIO.P増設用	6連スターラー (攪拌子付属)、センサー×6、 GL-45の1L瓶、取付アダプター	お問合わせ
専用遮光瓶(1本)	容器の補充用、およびBIO.Pシステムでppm測定時の瓶として使用します。	





BOD

呼吸活性センサー システム6



呼吸活性センサー システム6 BIO.P

\*各PCは別途ご用意ください

### 無線機能搭載のセンサ



呼吸活性センサーシリーズはBluetooth で記録を出力する機能を搭載しておりま す。短時間での記録の経時的変化を確 認する実験系に最適です。

(次ページの6D/10Dと同じくPCを用い ずに、センサー部に24時間ごと5日分の 値を保存する機能もございます。また手 動で現在値を確認することも可能です。

詳しくはP.186をご覧ください)。

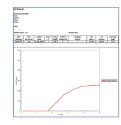
## BOD測定向けと、生分解性試験向け製品

通常のセンサーシステム6と6 BIO.Pの違いはスターラーと瓶の対応となりま す。BIO.Pのセンサーは汎用のGL-45ネジロの瓶が取り付けられるので、250mL や500mLなど、試験に応じた容器サイズに組み替えて使えます。

ppm(mg/L)の記録を行いたい場合は、専用の遮光瓶での測定を推奨しておりま すので、ご検討ください。

#### PCでの記録について





付属の記録ソフトは30日間までの自動測定が可能です。登録本数は最大48サン プル。(\*30日以上の長期記録を希望する場合は、同じ測定サンプルを別番号で 再登録して測定を継続、後日データを統合します)。データ出力はExcelファイル 形式を基本とします。連動したマクロ機能で専用のレポート出力も行えます。測 定用PCはスタンドアローンでの運用が必要です。詳細はWEBをご覧ください。



更に詳しい情報は QR コードまたは https://taitec.info/2024b/184 にて